

# 強化指定選手選考規程

特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会

## 第1条 (目的)

本規程は、特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会（以下「当協会」という。）が選出する強化指定選手に関する基本事項を定めるものである。

## 第2条 (対象)

強化指定選手は、以下の各号の要件を全て満たしていなければならない。

- ① 当協会会員であること
- ② ノンレクレーション申込をしていること

## 第3条 (強化指定選手の選考基準)

- (1) 強化指定選手の定員は6名とする。但し、強化指定選手が定員に満たないこともあり得る。
- (2) 強化指定選手は、以下の各号のいずれかを満たす者とする。
  - ① 2日間36ホールストロークプレイ競技方法で行われる強化指定選手選考会において、合計スコアが165以内の者
  - ② アマチュア大会上位成績の実績を持つなど、強化委員会が協議に基づき強化指定選手に値する実績を有すると判断した者
- (3) 強化委員会は、前項①を満たす者を強化指定選手に選出し、前項①を満たす者が1項の定員に満たない場合、前項②を満たす者を最大で定員に達するまで、推薦枠で強化指定選手候補に選出し、理事会の決議を経て強化指定選手に選出することができる。ただし、世界デフゴルフ選手権大会には派遣されない。
- (4) (2) ①を満たす者が強化指定選手の定員を上回る場合、強化委員会は、(2) ①を満たす者のうち代表選考会におけるスコアが優秀な者から順に定員に達するまでの者を強化指定選手に選出するものとする。

## 第4条 (遵守事項)

強化指定選手は、以下各号に定める事項を遵守しなければならない。

- ① 理事会より任命された団長等の指示に従い、チームの和を乱す行為又は他人への迷惑を掛ける行為をしないこと
- ② 当協会が別途定める「選手行動指針」に定める事項
- ③ 当協会に対しアスリート会員料を納入すること

- ④ 当協会所定の誓約書に署名のうえ、当協会に提出すること

#### 第5条 (費用負担)

当協会は、強化指定選手に対し、競技力向上事業助成金を支給するものとする。但し、大会への出場等において不足する費用は、強化指定選手の負担とする。

#### 第6条 (指定の解除)

強化委員会は、強化指定選手が次の各号のいずれかに該当するときは、強化指定選手の指定を解除する決定をすることができる。

- ① 強化指定選手への選出を辞退した場合
- ② 正当な理由なく当協会の定める強化方針及び当協会の指示に従わない場合
- ③ アンチ・ドーピングに関する規程に違反した場合
- ④ 第4条の遵守事項に違反した場合
- ⑤ その他強化委員会が強化指定選手として不適切であると判断した場合

#### 第7条 (不服申立)

本協会の決定に対する不服申し立ては、日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁によって解決されるものとする。

#### 第8条 (改正)

本規程は、理事会の決議によって改正することができる。

#### 附則

本規程は令和3年11月20日から施行する。

本規程は令和5年11月1日から改正施行する。

# 世界デフゴルフ選手権大会代表選考規程

特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会

## 第1条（目的）

本規程は、特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会（以下「当協会」という。）が世界デフゴルフ選手権（以下「本大会」という。）のために選出する強化指定選手及び一般選手（以下、総称して「参加選手」という。）の選考基準等について定めるものである。

## 第2条（対象）

参加選手は、以下の各号の要件を全て満たしていなければならない。

- ① 当協会会員であること
- ② 全日本ろうあ連盟会員であること、又は翌年全日本ろうあ連盟加入予定であること
- ③ 当協会が別途定める世界共通ハンディキャップ（WHS）を取得している、又は世界デフゴルフ選手権大会出場前に取得する予定であること
- ④ ノンレクレーション申込をしていること
- ⑤ 次のいずれかの成績、実績を取めていること
  - ・直近2年間において日本デフゴルフ選手権大会の最高成績が2日間180以内であること
  - ・直近2年間において各デフゴルフ事業の成績が平均90以内であること
  - ・直近の世界デフゴルフ選手権に出場していること
  - ・直近2年間において日本デフゴルフ選手権大会の最高成績が3位以上であること
  - ・直近5年間において強化指定選手選考規程で定める強化指定選手に選出された実績があること

## 第3条（クラス分け）

- (1) 本大会の個人戦は、男子クラス、女子クラス、シニア男子クラス（50歳以上）、シニア女子クラス（50歳以上）、の4クラスで行われる。なお、ジュニアは男子クラス又は女子クラス対象の選手となる。
- (2) 本大会の団体戦は、男子クラス、女子クラス、シニアクラスの3クラスで行われる。

## 第4条（世界共通ハンディキャップ（WHS）基準）

本大会における世界共通ハンディキャップ（以下「WHS」という。）基準は、以下各号のとおりである。

- ① 男子クラスは、WHS 10.4 以下
- ② 女子クラスは、WHS 22.4 以下

- ③ シニア男子クラス（50歳以上）は、WHS 16.4 以下
- ④ シニア女子クラス（50歳以上）は、WHS 28.4 以下
- ⑤ ジュニア男子（18歳以下・男子）は、WHS 18.4 以下
- ⑥ ジュニア女子（18歳以下・女子）は、WHS 30.4 以下

#### 第5条（参加選手数）

本大会に参加することができる参加選手数は、以下のとおりとする。

- ① 男子クラス 8名
- ② 女子クラス 5名
- ③ シニア男子クラス 5名
- ④ シニア女子クラス 5名

#### 第6条（選考基準）

- (1) 強化委員会は、代表選抜会において下記の選考基準を満たす成績を収めた者を、強化指定選手又は一般選手として、本大会個人戦の各クラス出場選手に選出する。なお、選出された参加選手が事情を問わず辞退となった場合は、選考基準を満たさない者であっても、成績が上位の者から順に一般選手として繰り上げ出場することができる。

- ① 男子クラスは、上位 8名に含まれる者
- ② 女子クラスは、上位 5名に含まれる者
- ③ シニア男子クラスは、上位 5名に含まれる者
- ④ シニア女子クラスは、上位 5名に含まれる者

- (2) 強化委員会は、代表選抜会において下記の選考基準を満たす成績を収めた者を、強化指定選手又は一般選手として、本大会団体戦の各クラス出場選手に選出する。なお、選出された参加選手が事情を問わず辞退となった場合は、選考基準を満たさない者であっても、成績が上位の者から順に一般選手として繰り上げ出場することができる。

- ① 男子クラス参加選手は、上位 5名に含まれる者が男子クラス団体戦に出場する。
- ② 女子クラス参加選手は、上位 5名に含まれる者が女子クラス団体戦に出場する。
- ③ シニア男子クラス参加選手は、上位 5名に含まれる者がシニア男子クラス団体戦に出場する。
- ④ シニア女子クラス参加選手は、上位 5名に含まれる者がシニア女子クラス団体戦に出場する。
- ⑤ 前各項の規定にかかわらず、参加選手数等の関係で、本大会が定める団体戦における最低可能参加人数が2名を下回る選手しか団体戦の出場資格を有しない場合、団体戦の出場資格を得た選手であっても団体戦には出場できない。

- ⑥ その他、参加選手数等の関係で、出場するクラスが変更になることがあり得る。

#### 第7条（一般選手）

- (1) 本規程に基づき本大会に出場する選手のうち、強化指定選手選考規程に基づく強化指定選手に指定されていない選手を、一般選手という。
- (2) 一般選手は、本大会への出場に要する費用の全額を自ら負担する。
- (3) 一般選手は、以下の事項を遵守しなければならない。
  - ① 理事会より任命された団長等の指示に従い、チームの和を乱す行為又は他人への迷惑を掛ける行為をしないこと
  - ② 当協会が別途定める「選手行動指針」に定める事項
  - ③ 当協会所定の誓約書に署名のうえ、当協会に提出すること
- (4) 強化委員会は、一般選手が次の各号のいずれかに該当するときは、一般選手の選出決定を解除する決定をすることができる。
  - ① 一般選手の選出を辞退した場合
  - ② 正当な理由なく当協会の定める強化方針及び当協会の指示に従わない場合
  - ③ アンチ・ドーピングに関する規程に違反した場合
  - ④ 前項の遵守事項に違反した場合
  - ⑤ その他強化委員会が一般選手として不適切であると判断した場合

#### 第8条（不服申立）

本協会の決定に対する不服申し立ては、日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁によって解決されるものとする。

#### 第9条（改正）

本規程は、理事会の決議によって改正することができる。

#### 附則

本規程は令和3年11月20日から施行する。

本規程は令和5年11月1日から改正施行する。

# デフリンピックゴルフ競技選手選考規程

特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会

## 第1条（目的）

本規程は、特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会（以下「当協会」という。）が選出するデフリンピックゴルフ競技選手に関する基本事項を定めるものである。

## 第2条（対象）

デフリンピックゴルフ競技選手は、以下の各号の要件を全て満たしていなければならない。

- ① 当協会会員であること
- ② 全日本ろうあ連盟会員であること、又は翌年全日本ろうあ連盟加入予定であること
- ③ 当協会が別途定める世界共通ハンディキャップ（WHS）を取得している、又はデフリンピックゴルフ競技出場前に取得する予定であること
- ④ ノンレクレーション申込をしていること
- ⑤ 過去5年間において強化指定選手選考規程で定める強化指定選手に選出された実績があること

## 第3条（デフリンピックゴルフ競技選手の選考基準）

- (1) デフリンピックゴルフ競技選手の定員は男女各3名とする。但し、デフリンピックゴルフ競技選手が定員に満たないこともあり得る。
- (2) デフリンピックゴルフ競技選手は、以下の各号のいずれかを満たす者とする。
  - ① 2日間36ホールストロークプレイ競技方法で行われるデフリンピックゴルフ競技選手選考会において、合計スコアが165以内の者。
  - ② アマチュア大会上位成績の実績を持つなど、強化委員会が協議に基づき強化指定選手に値する実績を有すると判断した者
- (3) 強化委員会は、前項①を満たす者をデフリンピックゴルフ競技選手に選出し、前項①を満たす者が1項の定員に満たない場合、前項②を満たす者を最大で定員に達するまで、推薦枠でデフリンピックゴルフ競技選手候補に選出し、理事会の決議を経てデフリンピックゴルフ競技選手に選出することができる。
- (4) (2) ①を満たす者がデフリンピックゴルフ競技選手の定員を上回る場合、強化委員会は、(2) ①を満たす者のうち代表選考会におけるスコアが優秀な者から順に定員に達するまでの者をデフリンピックゴルフ競技選手に選出するものとする。

#### 第4条（遵守事項）

デフリンピックゴルフ競技選手は、以下各号に定める事項を遵守しなければならない。

- ① 理事会より任命された団長等の指示に従い、チームの和を乱す行為又は他人への迷惑を掛ける行為をしないこと
- ② 当協会が別途定める「選手行動指針」に定める事項
- ③ 当協会に対しアスリート会員料を納入すること
- ④ 当協会所定の誓約書に署名のうえ、当協会に提出すること

#### 第5条（費用負担）

当協会は、デフリンピックゴルフ競技選手に対し、デフリンピックに関わる助成金を支給するものとする。但し、大会への出場等において不足する費用は、デフリンピックゴルフ競技選手の負担とする。

#### 第6条（指定の解除）

強化委員会は、強化指定選手が次の各号のいずれかに該当するときは、デフリンピックゴルフ競技選手の指定を解除する決定をすることができる。

- ① デフリンピックゴルフ競技選手への選出を辞退した場合
- ② 正当な理由なく当協会の定める強化方針及び当協会の指示に従わない場合
- ③ アンチ・ドーピングに関する規程に違反した場合
- ④ 第4条の遵守事項に違反した場合
- ⑤ その他強化委員会がデフリンピックゴルフ競技選手として不適切であると判断した場合

#### 第7条（不服申立）

本協会の決定に対する不服申し立ては、日本スポーツ仲裁機構「スポーツ仲裁規則」に従ってなされる仲裁によって解決されるものとする。

#### 第8条（改正）

本規程は、理事会の決議によって改正することができる。

#### 附則

本規程は令和5年11月1日から施行する。